

気候危機を煽るイベント・アトリビューション研究のトリック

杉山 大志 (すぎやま たいし) 一般財団法人キャノングローバル戦略研究所 研究主幹

監訳 杉山大志 訳 木村史子

本稿はロジャー・ピールケ・ジュニア
The Honest Broker
2024.12.31
Tricks of the Trade
Weather Attribution Alchemy, Part 3
<https://rogerpielkejr.substack.com/p/tricks-of-the-trade>
を許可を得て邦訳したものである。



Look at that spin

今日の記事は、THB シリーズ「ウェザー・アトリビューション錬金術」のパート3である。前回までの記事は以下を参照されたい：

パート1：ウェザー・アトリビューション錬金術

<https://rogerpielkejr.substack.com/p/weather-attribution-alchemy>

パート2：NASにおけるアトリビューション・ステルス・アドボカシー

<https://rogerpielkejr.substack.com/p/attribution-stealth-advocacy-at-the>

ハリケーンは気候変動政策の広告塔である。上の実在のポスターを見てもわかるように、ハリケーンは発電所から排出される二酸化炭素によって引き起こされる（あるいは、ハリケーンがより頻繁に、より激しく、より雨を降らせ、より遅く、あるいはより速くなる）という一般的な物語が存在する。ハリケーンが間違った方向に回転している上の映画のポスターのように、実際の証拠や研究結果は常にこの物語に合致しているわけではない。

あらゆる規模の大きなハリケーンを気候変動と関連付けるニセ科学的な家内産業が誕生しつつある。そこで本稿では、ハリケーンの原因は温室効果ガス排出だと主張する最近の動向を見てみよう。

気候変動がハリケーンに与える影響は極めて大きいと言われている。以下は2024年の気候変動がハリケーンの発生に与えた影響についてまとめたものである：

- ハリケーン「ミルトン」は40%も発生しやすくなった。
- ハリケーン「ヘリーン」は100%以上も発生しやすくなった。
- 台風「シャンシャン」は36%も発生しやすくなった。